



令和2年10月30日

厚生労働大臣 田村憲久殿

## 日本の芸術及びエンタテインメントに携わる フリーランス芸能従事者の絶望的な状態について

新型コロナウイルスの世界的大流行と、その蔓延を抑えるために日本で講じられた厳しい措置の結果、メディアおよびエンタテインメント産業に携わる実演家その他のフリーランス芸能従事者が今日耐えている危機的な状況を憂慮し申し上げます。

これらの措置が人命を救うために不可欠であることは自明の理ですが、収入を維持し請求書の支払いを援助する日本の正規雇用者向けの貸金支援制度及び傷病手当金その他の財政支援を利用できない多くの個人事業主への甚大な影響を懸念しています。

フリーランスの俳優、音楽家、技術スタッフ等、我々が代弁する日本の芸能従事者の大多数は、これらの措置により大きな犠牲を払っています。膨大な芸能分野の企画が中止され、又はどんなに良くても延期され、我々の会員が切実に当てにしており、次の仕事までやりくりする収入がすっかりなくなりました。我々の会員の誰もこの経済的損失を補償されていません。

その結果、実演家その他のフリーランス芸能従事者は、貧困線を下回って生活しているのです。彼らの大多数は今年2月以来収入が50%以上減少しており、そのうち大変な割合が無収入で生活していると報告しています。

フリーランス芸能従事者が利用できる補助金や緊急助成金がないため、生存が脅かされ、またその不安定な収入に依存している彼らの家族の生存も危機に瀕しています。彼らの中にも仕事に従事する幸運な人々もいますが、ウィルスに感染して自主隔離をする際、頼りにする手当はありません。

この世界的大流行において、カナダ、米国、英国及びほとんどの EU 諸国を含む、世界中の多くの国が、すべての労働者に包括的な福祉と収入の保護を提供するため、大胆かつ前例のない措置を講じ、個人事業主と従業員に同等の補助を与えています。この明るい兆しは、不安定な状況にも関わらず、少なくとも窮迫した必要を満たすことができた点で、我々の会員にとって大変重要なのです。


国際俳優連合（FIA）、国際音楽家連盟（FIM）及びユニ・グローバル・ユニオンメディア部会（UNI MEI）には、それぞれ日本の支部団体、すなわち日本俳優連合、日本音楽家ユニオン及び日本民間放送労働組合連合会（民放労連）と連帯しています。私たちは日本政府に対し、彼らの絶望的な呼びかけに耳を傾け、この危機の間、メディアおよびエンタテインメントに携わるすべてのフリーランス芸能従事者に、有意義な支援措置を迅速に拡大することを要請します。

ドミニク・ルカー



FIA国際俳優連合  
事務総長

ベノア・マシュエル



FIM国際音楽家連盟  
事務総長

ヨハネス・ステュディンガー



UNI MEI担当局長